

令和5年3月に策定した「竹の塚エリアデザイン まちづくりの基本的な考え方」について、駅周辺の「まちの顔づくり」のための論点を整理しました。

北の玄関「竹の塚」にふさわしい まちの顔づくり 駅前空間を核とした まちなか再生

駅前にゆとりある公共空間を創出することで、回遊性が高く、魅力的で活気のある「暮らしのまち」を目指します。

1 人中心の駅前空間づくり

- (1) 駅前広場に広場空間を創出
(イメージパースの実現、東口駅前交通広場の見直しを検討)
- (2) 公共と民間がともにつくり出す公共空間＝居場所づくり

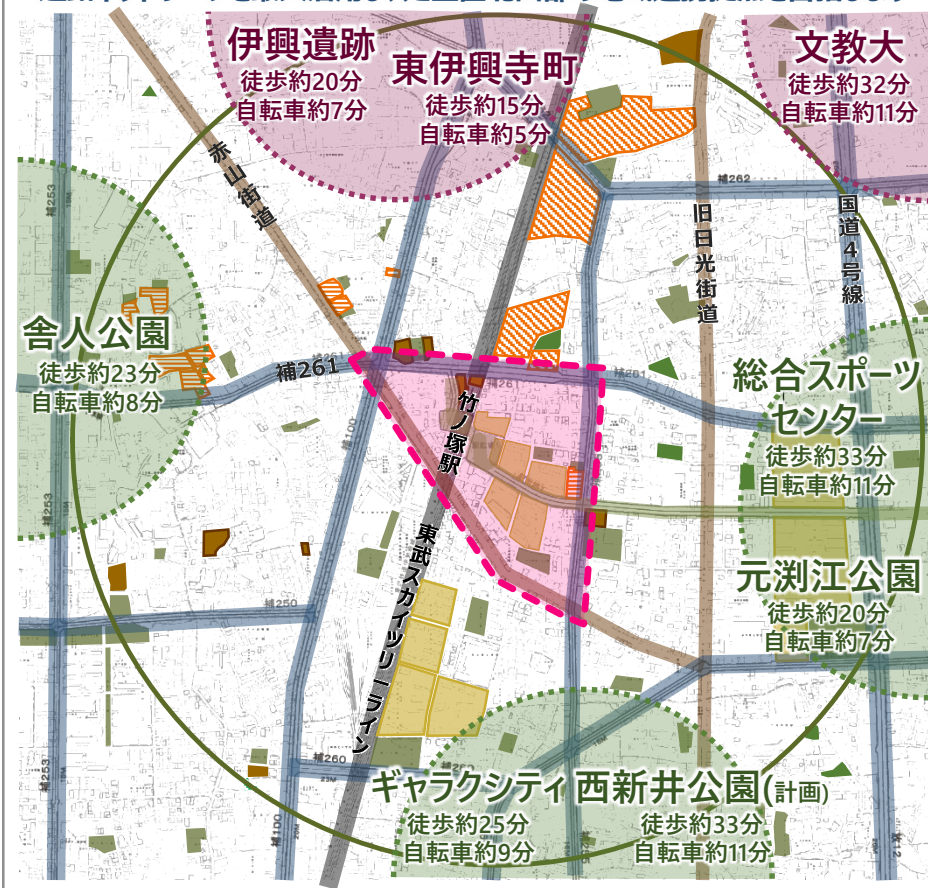
2 目的地となる拠点づくり・活動づくり

- (1) 【短期】区有地を暫定活用した活動づくり
⇒連立事業用地・高架下公共利用用地に暫定駐輪場と広場
- (2) 【中・長期】公共施設再編と公民連携の区有地活用による拠点づくり

3 歩行者と自転車共存する環境づくり

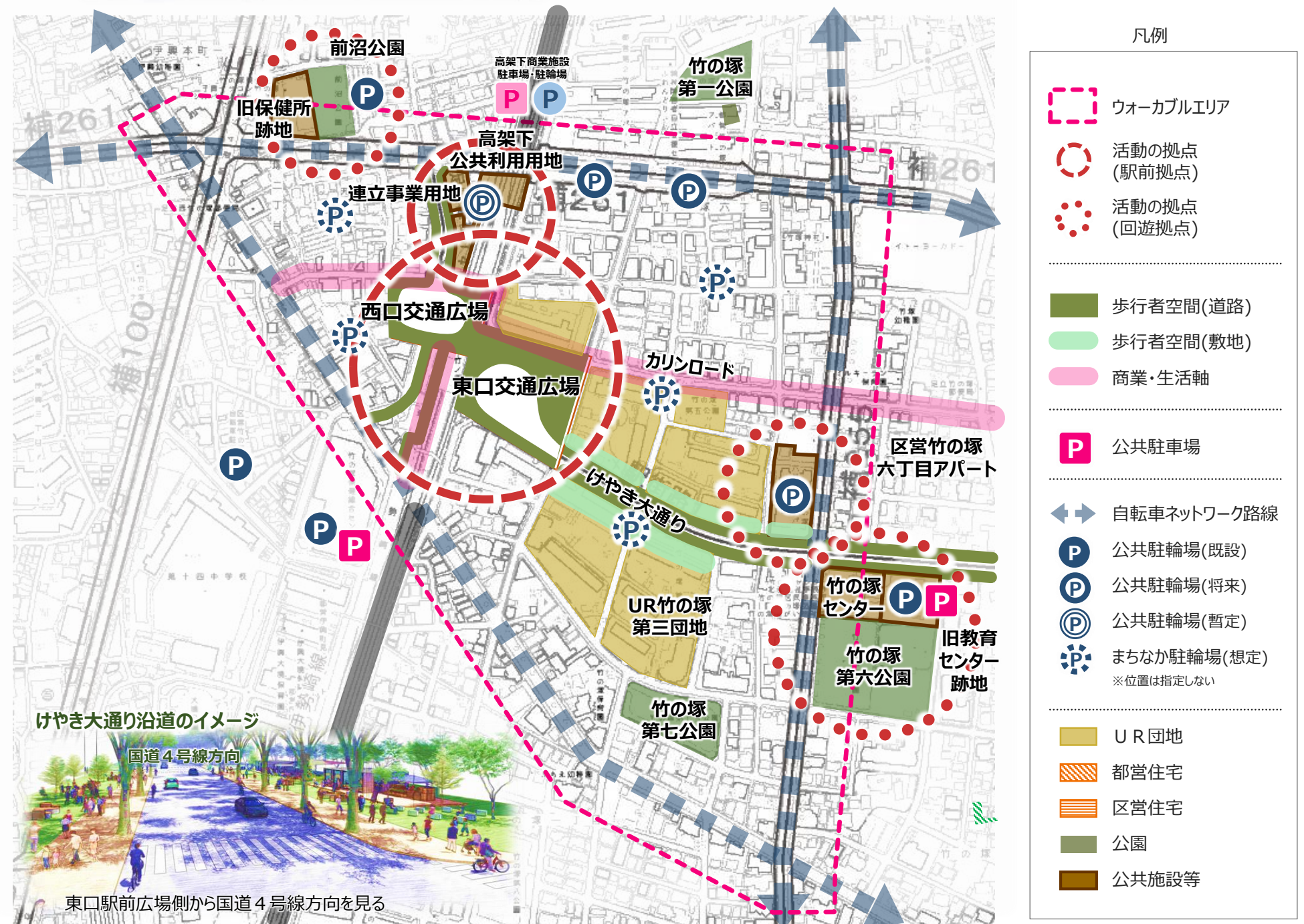
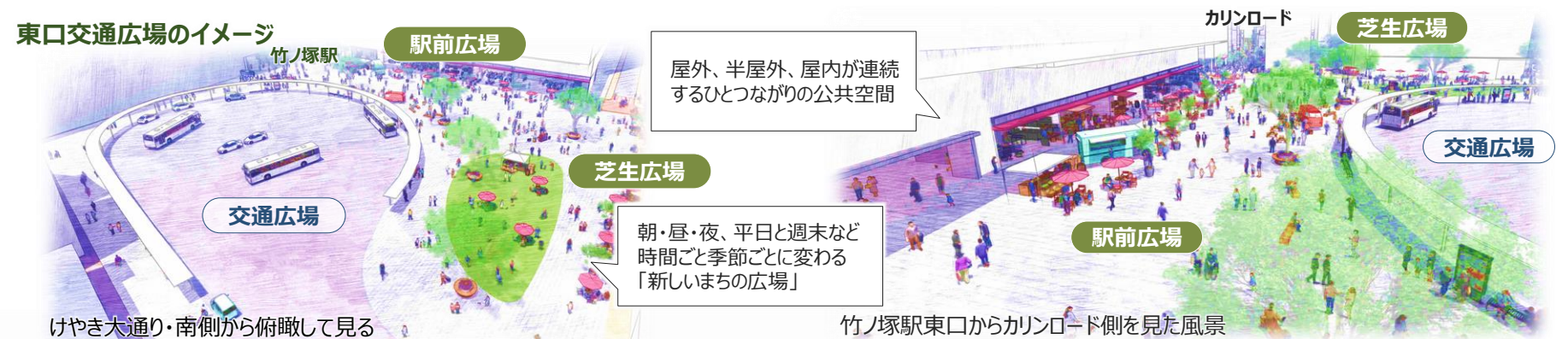
- (1) 駅前広場は歩行者を優先（押し歩き道路の指定など）
- (2) 自転車ネットワーク路線の走行環境を整備、ウォカブルエリア外周に公共駐輪場(定期)を設置
- (3) 買い物利用等に対応する短時間のまちなか駐輪場を配置

道路ネットワークを最大活用し、足立区北西部の地域連携拠点を目指します



エリアコンセプト 竹ノ塚駅の東西一体 人が主役のまちづくり

「住み続けたい」と思う人や「まちへの愛着」「人に勧めたい」などプラスイメージを持つ人を増やすため、地域に根差した「場づくり」や「活動づくり」により、地域に住み暮らす人が主役となるまちづくりに取り組みます。



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号) MMT利計第06-K121-24号 これらはイメージパースであり、協議が必要な内容も含まれるため実際の整備内容とは異なります